

Information

第16回日本クリティカルケア 看護学会学術集会 (Web 開催)

日程▶7月1日(水)~12月31日(木)(Web 開催)

テーマ▶終わりのなき挑戦—Endless Challenge
プログラム▶会長講演「クリティカルケア看護への眼差し：ベッドサイドケアとしての看護の営み」 藤野智子（聖マリアンナ医科大学病院）／特別講演①「未来の看護を支える知的システム」 石黒浩（大阪大学）／②「クリティカルケア看護における倫理的ジレンマへの対応」 会田薫子（東京大学）／③「シェアード・ディシジョンメイキングとは何か？：エビデンスと価値観の観点から」 中山健夫（京都大学）／④「情報化時代の医療—クリティカルケアへの適用を考える」 黒田知宏（京都大学）／教育講演①「混沌とした臨床現場の実態把握と論理の発見—質的統合法（KJ法）を用いた研究の取り組み」 山浦晴男（情報工房）／②「シミュレーション教育法を活用したクリティカルケア多職種連携教育の可能性」 駒澤伸泰（大阪医科大学）／③「ICUから始める早期リハビリテーション」 玉木彰（兵庫医療大学）／④「レジリエントな災害対応—業務継続計画（BCP）の重要性」 石井美恵子（国際医療福祉大学）／⑤「終わりのなき挑戦—人はどこまで救えるのか？そして救えない時、私たちに何ができるのか？」 鹿野恒（鹿児島市立病院）／⑥「Hybrid ERが変える救急医療」 和田大樹（関西医科大学総合医療センター）／⑦「再生医療の倫理—求めたい看護の存在と力、生命倫理の視点から」 有江文栄（国立精神・神経医療研究センター）／⑧「敗血症の治療方針と各職種との連携」 向井啓（摂南大学）／⑨「医療政策の観点からクリティカルケア看護への提言」 太田凡（京都府立医科大学）／アドバンスセミナー①「クリティカルケア領域の看護師が知っておきたい最新知見」 卯野木健（札幌市立大学）／②「侵襲に対する生体反応に纏わるトピックス」 道又元裕（国際医療福祉大学成田病院）／③「米国におけるプロトコルの使い方—人工呼吸関連」 戒初代（国際医療福祉大学成田病院）／④「コンフォート理論の実践への活かし方」 江川

幸二（神戸市看護大学）／⑤「クリティカルケア看護への覚悟 患者と向き合い共に紡ぐ」 亀井有子（市立岸和田市民病院）／⑥「クリティカルケア看護とエンド・オブ・ライフケアの連続性」 北村愛子（大阪府立大学）／シンポジウム①「クリティカルケア領域におけるエンドオブライフケアの課題と挑戦」 宇都宮明美（京都大学）、細萱順一（かわぐち心臓呼吸器病院）、櫻本秀明（茨城キリスト教大学）／②「質の高い家族看護実践へのチャレンジ」 明石恵子（名古屋市立大学）、樽松久美子（北里大学病院）、松本修一（滋賀県立総合病院）／③「ICUサバイバーの声を聴く」 渡邊源喜、八尾みどり（大阪府三島救命救急センター）、川崎俊也（大阪府三島救命救急センター）／④「クリティカルケア領域で働く看護師の育成—エキスパートの役割機能を活かした全人的な育成のワザと実践」 北別府孝輔（倉敷中央病院）、政岡祐輝（国立循環器病研究センター）、茂呂悦子（自治医科大学附属病院）／パネルディスカッション①「訪日・在留外国人へのクリティカルケア」 大橋一友（大手前大学）、新垣智子（りんくう総合医療センター）、櫻谷眞佐子（大阪府立中河内救命救急センター）／②「クリティカルケア看護に求められる役割と場の多様性」 劔持功（東海大学）、森口真吾（T-ICU）、徳山博美（関西医科大学附属病院）／③「補助循環の最前線」 黒田健輔（国立循環器病研究センター）、吉田幸太郎（大阪大学医学部附属病院）、戸田美和子（倉敷中央病院）／④「PICSの終わりのなき挑戦」 卯野木健（札幌市立大学）、飯田有輝（海南病院）、小松由佳（杏林大学医学部附属病院）／⑤「クリティカルケア領域における高齢者の急変・重症化を防ぐためのアセスメント・看護ケアの極意」 山口真有美（関西医科大学）、野口綾子（京都府立医科大学附属病院）、山岡綾子（兵庫医科大学病院）／⑥「クリティカルケア領域における臨床研究の課題と挑戦」 濱元淳子（国際医療福祉大学）、谷水名美（関西医科大学）、佐伯京子（山口大学医学部附属病院）、福田侑子（自治医科大学附属病院）／ほか

参加費▶会員 1万2000円、非会員 1万3000円、学生 3000円、懇親会 5000円

問い合わせ先▶運営事務局

〒451-0075 愛知県名古屋市中区康生通2-26 オフィス・テイクワン内

☎ 052-508-8510

FAX 052-508-8540

✉ jaccn16@cs-oto.com

地域社会振興財団研修会 第23回リハビリテーション研修会

日程▶10月22日(木)~23日(金)

会場▶自治医科大学地域医療情報研修センター（栃木県下野市）

テーマ▶脳血管疾患、外傷、循環器障害、呼吸器障害、摂食嚥下障害の急性期リハビリテーションのポイントを学ぶ

内容▶①急性期リハビリテーション概論／②脳血管障害患者の急性期医療管理／③脳血管障害患者の急性期理学療法介入のポイント／④循環器疾患の急性期理学療法介入のポイント／⑤呼吸器疾患の急性期理学療法介入のポイント／⑥外傷患者の急性期医療管理／⑦外傷患者の急性期理学療法介入のポイント／⑧急性期作業療法介入のポイント／⑨急性期の摂食嚥下介入のポイント
対象者▶医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、など

定員▶30名

受講料▶1万8000円（税込）

申込締切▶9月23日(水)

*締切前でも定員に達した場合は締め切る

申込方法▶下記 URL にある専用の受講申込書をダウンロードし、記入の上、郵送にて申し込み

申込・問い合わせ先▶地域社会振興財団事務局研修課

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160

☎ 0285-58-7436

FAX 0285-44-7839

✉ fdc@jichi.ac.jp

http://www.zcssz.or.jp/

*掲載している情報は5月8日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。